ダイムロン・ピラクロニル・メタゾスルフロン剤

銀河

(1キロ粒剤/ジャンボ/フロアブル)

成分:ダイムロン [尿素系]

…10.0%(粒剤), 25.0%(ジャンボ), 20.0%(フロアブル) ピラクロニル

- ····2.0% (粒剤), 5.0% (ジャンボ), 4.0% (フロアブル) メタゾスルフロン〔スルホニルウレア系〕

…1.0% (粒剤), 2.5% (ジャンボ), 2.0% (フロアブル)

取扱メーカー: 日産

原体メーカー:

エス・ディー・エス,協友アグリ,

日産

性状:類白色細粒(粒剤)

類白色細粒 水溶性パック入り1パック40g(ジャンボ) 類白色水和性粘稠懸濁液体 (フロアブル)

毒性:普通物 消防法:——

● ホタルイやクログワイなど多年生雑草にも卓効 を示す一発処理除草剤。

- ●多年生雑草の塊茎形成も抑制,翌年の発生要因 を減らすことが可能。
- ●コナギ,アゼナなどスルホニルウレア抵抗性雑草にも高い効果を示す。
- 1 キロ粒剤は田植同時散布も可能。

【使用上のポイント】 …………… 〈共通〉

- ●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ●本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエ3葉期までに時期を失しないように散布する。
- ●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意する。

雑草名	散布適期			
# 早 行	粒剤	ジャンボ	フロアブル	
ホタルイ ミズガヤツリ	3葉期まで			
ウリカワ	3葉期まで		2葉期まで	
ヘラオモダカ	2葉期まで			
ヒルムシロ	発生期まで			
セリ	再生始期まで			
オモダカ	矢尻葉3葉期まで		発生始期	
クログワイ コウキヤガラ	草丈30㎝まで		光生炉朔まで	
シズイ	草丈20㎝まで		草丈3cmまで	
アオミドロ・ 藻類による表 層はく離	_	発生前	_	

●オモダカ,クログワイ,コウキヤガラ,シズイに対しては、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用する。

- ●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬 害等の注意を参照。
- ●適用作物(水稲)の薬害などの注意は「薬害注 意事項解説」を参照。
- ●適用外作物(いぐさ,れんこん,せり,くわい)への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参
 昭。

〈紨剤〉

- ●移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系 で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察 し、時期を失しないように適期に散布する。
- ●直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため 稲の2葉期以降に使用し、稲の根が露出している ときの使用はさける。

〈ジャンボ〉

- ●本剤は小包装 (パック) のまま 10 a 当り 10 個の割合で水田に均等に投げ入れる。
- ●散布時は圃場の水深を5cm以上にして実施する。
- ●移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布する。

- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後 も注意。
- ●散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。

〈紨剤〉

●無人へリコプター散布の際は、共通注意事項の 2. 空中散布及び無人航空機(無人へリコプター 等)による散布・滴下に関する注意事項を参照。 〈フロアブル〉

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはか からないようにする。

● 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはか からないようにする。

【適用と使用法】………

①銀河1キロ粒剤

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	移植時		田植同時散布 機で施用	
	ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ	移植直後〜 ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	l kg	湛水散布又は 無人へリコプ ターによる散 布	1回※
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ	稲2葉期〜 ノビエ3葉期 但し,収穫60日前まで			

:移植水稲は3回以内(育苗箱散布は1回以内,本田では2回以内) 直播水稲は2回以内 ※ダイムロンを含む農薬の総使用回数

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内 ※メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数:2回以内

②銀河ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモダカ クロウキヤ ブイマガラ シズイ 下オミドロ・藻類による 表層はく離	移植後5日~ ノビエ3葉期 但し、収穫60日前まで	小包装 (パック) 10個 (400g)	水田に小包装 (パック)の まま投げ入れ る。	1回※

: 3回以内(育苗箱散布は1回以内,本田では2回以内) : 2回以内 ※ダイムロンを含む農薬の総使用回数

※グイムロンで占り辰末ン応区の日本 ※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内 ※メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内

③銀河フロアブル

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ ヒルムシロ セリ オモログヤ フロウキヤ シズイ	移植後5日~ ノビエ3葉期 但し,移植後30日まで	500 mℓ	原液湛水散布	1回※

: 3回以内(育苗箱散布は1回以内,本田では2回以内)

※ダイムロンを含む農薬の総使用回数 :3回以内 ※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数 :2回以内 ※メタゾスルフロンを含む農薬の総使用回数:2回以内